



文責
校長 時田直人

わかしよう

〔学校教育目標〕

- かしこい子ども
- 美しいものに感動する子ども
- 思いやりのあるやさしい子ども
- たくましく生きぬく子ども

卒業式に向けて

令和6年度の卒業式に向けて、6年生が練習に励んでいます。6年生には次のような話をしました。まずは当日の様子を想像してみましょう。素敵な洋服を着て、この体育館に入場してきました。きれいなお花が出迎えてくれます。下級生を代表して5年生が、そして一番大切なみんなの家族が会場にいます。小学校生活最後の授業である卒業式、最高の自分自身を表現してください。校長先生も心を込めてみなさん一人ひとりに卒業証書を渡します。

また、卒業式は小笠原流礼法を取り入れて行います。その一つに



菊花結び



卒業式当日は服に「菊花結び」のリボンを付けます。6年生が一人ひとり手作りしたものです。



若草中学校合唱部による卒業式音楽指導

若草中学校の音楽の先生と合唱部による卒業式の合唱練習がありました。若草中学校合唱部は多くの大会で入賞する実力のある合唱部です。本校卒業生も多く来ていただき、先輩方の美しい歌声とともにあこがれの先輩としてもよい刺激を受けました。10数名の中学生でしたが、その歌声は6年生の合唱の中でも光っていたように感じます。ありがとうございました。卒業式に向けて気持ちの高まる時間となりました。



中学生による合唱指導

馬頭琴の演奏会 1・2年生

2年生の国語の授業に「スーホの白い馬」があります。この物語はモンゴルのお話です。物語の中で、馬頭琴というモンゴルの民族楽器が登場します。楽器の先が馬の形をしているためこの名前がついています。弦は馬のしっぽの毛が使われています。今回、大森先生の紹介で1年生と2年生が、馬頭琴演奏者の「バトさん」の演奏を聞きました。スーホの白い馬の読み聞かせに合わせて、BGMのように馬頭琴の音色が流れるとより一層物語に引き込まれました。初めて馬頭琴の音を聞きました



が、その柔らかくて美しい音色に感動しました。演奏会が終わった後、3年生にも演奏していただきました。教室内での馬頭琴の響きもとても素敵でした。バトさん、ありがとうございました。



3年生とうふ作り 以前にもお伝えしましたが、3年生は「とうふ作り」を行っています。パルシステムさんの協力のもと、大豆からとうふ作りを始めます。日々口にしているとうふですが、このようにして作られていることを学びました。にがりをいれて固まるまでの間は、「食」についてのお話も聞きました。手作りのとうふはとてもおいしかったです。市販のものとは一味



違うとうふをいただきました。3年生ありがとうございます。

校舎建築の様子 校舎建築は現在

2階部分の基礎工事がほぼ終了し、いよいよ最上階の3階部分の工事にはいります。多くの職人さんが寒さ厳しい中、作業しています。安全に気を付けて工事を進めて欲しいです。



がんばる姿

令和6年度もあとわずかとなりました。たくさん



のお友達と仲よく活動している姿があります。1年間の



まとめと次年度への準備を進めています。子供たちの頑張る姿を応援します。



「校長先生は給食の毒味をするんですか？」 とたずねてきた男の子がいました。以前にも別の子が同じようなことを聞いてきました。どうしてそんなこと聞くのかなあと。「なんでそんなこと知ってるの？」と聞き返すと、「小説の中にそのことが出てきました。本当かなあと聞いてみました。」なるほど、本の中で学校の話が出てきたんだ。以前聞いてきた子は、確かにユーチューブで見たと言っていました。先ほどの男の子に「校長先生しているよ。」と伝えると、すっきりしたようで、「へー、なんだ。」と言って校庭に駆け出していました。毒味という事も含めて、給食の異物混入や異味・異臭、味付けなど毎日給食センターに結果を伝えています。校長先生もいろんな仕事があるんですよ。